

令和6年度第5回青谷地域振興会議議事概要

日時：令和6年10月23日（水）午後1時30分～3時40分

会場：青谷町総合支所多目的ホール

【出席委員】

長谷川和郎、徳田章人、松下達夫、久野浩太郎、植田 隆、前田幸一、塩とみ子、松岡礼子、大石剛史、大谷 茜

【事務局】

佐々木支所長、田中副支所長兼地域振興課長（併教育委員会事務局青谷町分室長）、高野産業建設課長、金崎市民福祉課長、山田地域振興課課長補佐、河上まちなか未来創造課課長補佐

【日程】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議題

【報告事項】

- (1) 【まちなか未来創造課】鳥取駅周辺再生基本計画について（資料1）

【協議事項】

- (1) 地域未来プランの策定について（資料2）
- (2) 地域振興未来会議について（資料3）

- 4 その他
- 5 閉会

≪議事概要≫

<報告事項>

- (1) 【まちなか未来創造課】鳥取駅周辺再生基本計画について

事務局（まちなか未来創造課）より説明

【委員】今後のスケジュールは、完成までに10年かかるということか。

【事務局】今後最短で令和12年度ぐらいに完成を目指しております。ただ、今回の整備に関してはJRが関わっており、JRとの調整がかなり時間がかかる場合もあるので、早くて令和12年度というところで、今後協議によっては長引く可能性もあるということをご理解い

ただければと思います。

【委員】計画策定にあたってモデルとしてるところとか、参考にしてるようなところがあるか。

【事務局】呉駅（広島県）の取組は駅の整備とバスターミナルの整備を国の直轄事業で進められており、市の負担を減らす為に同じことができないかということで非常に参考にしてるところです。当然そういったバスタプロジェクトはまだ全国で十数例ほどしか採用されていないですけども、何とか引っ張り出すために今協議を重ねているところです。

【委員】例えばペDESTリアンデッキのケースもありましたけど、それ以外他にどこかあるか。

【事務局】新潟ではペDESTリアンデッキだけではなくて、駅の下部分を南北に結んだ高架下の広場みたいなところも採用されていますので、そういったところを今注目しています。あとは複合施設で言いますと、山口県徳山駅が周南市にありますけど、ここは新幹線の駅になってるんですけど、図書館や駅と直結しているという設計で、若い学生さんが図書館の中のスターバックスでカフェを飲みながらゆっくりしたり、テラスにテーブルや椅子があり学習、会話を楽しんだりとすごく若い方で賑わっている駅になっておりましたので、そういったところを参考にしています。また、成功例ばかりではなく失敗事例なども学びながら進めているところです。

【委員】つくばの駅、岡山駅、大阪駅などみんな綺麗になっているが、どれも似ているように思う。鳥取はアナログな感じがなんか素敵だと思って、綺麗になるのは嬉しいけどどれも画一化されたものになるより鳥取のアナログな感じは残してもいいんじゃないかなと。ちょっと不便なぐらいがいいかなって思ったけど、青谷駅ではよく階段登るのが大変なので、お年寄りの使い易い形になればいいと思う。

<協議事項>

(1) 地域未来プランの策定について

事務局より説明

【委員】大体これ全体に眺めると、何々を支援するとか、何々を推進するという表現になっているが、具体的にはどのようなことを考えているか。

【事務局】未来プランが特に支援するという書き方になっているのは、確かに支援するというふうになっているんですけど、結局例えばびわを振興することが必要というのが目標としてあり、そのびわを振興するためにオーナー会を作りましょうとか、それから生産者の育

成する会を立ち上げましょうとか、具体的なところは政策の部分で、あえてプランはそこまで載せないんですけど、一つの目標をここで掲げているので、それに対してどういったやり方を考えていくのかっていうのは、地域とまず話をして、どういうことが求められているのかとかいうのをお話を聞きながら、部署で話をしながら進めて計画を立てていく形になる、そういう理解で考えていただけたらと思います

【委員】地域課題の個別の現状を把握しているのか。具体的にどういう対策を進めていて、施策として誰が取り組むのかということが括弧書きで書いておけば。要するにびわ一つとっても新規に栽培に取り組んでいる人に支援が出来ているのか、そういう具体性が見えないことが気になる。

【事務局】個別具体の話をいただきました。それぞれの事情課題をまず踏まえ、それに向かって解決するための方策を考えて道筋とか、計画を立てて実施して、やってみてどうだろうか反省していったというプロセスが当然必要です。そこを当然考えてないわけでは無いんですけども、このプランの中でそこまで書いてしまうとプランが大きくなってしまっているので、階層で整理してようご理解をいただきたいと思います。ここでは取り組むべき大きなテーマを整理していった、それぞれの課題の細かい部分については、実施計画であったり、各課の事業計画でまとめていくように考えており、地域課題に関しても個別の内容を回答が必要ということであればまた回答をさせていただきます。

【委員】、生産者の団体・個人当然あるわけですけど、そういう人たちを繋ぐコーディネートを誰がどんな形でやるかっていうことはこれから書いていくところ。それが見えるようになってくると一番いいわけであって、そこを支所の方がコーディネートされるのか、それは生産者団体と官と一緒に何かやっていくのか、そういうやり方がいろいろ方法あると思うんだけど、そういうのをちょっと参考にして。

【委員】販路拡大のことですけど、記載してある10ページの下、既存の施設を使って書いてあるんですけど、やっぱり今の時代ってネット活用って大切な部分であると思って、ただそのノウハウとかは企業の方とかでは意外と持ってない可能性もあるので、そのところは行政等の支援があれば違うかなと思う。それを鳥取市がするのかあるいは鳥取県がするのか、そこはまたあると思うけれども、でも東京にはアンテナショップもあったりして県を挙げて取り組んでいるところもあるけど、ただ青谷町としてやっぱりネットを活用した販路促進とかそういう部分っていうのはもう少しあってもいいかなというふうに思う。

【事務局】検討いたします。

【委員】長尾岬の開発を進めて欲しい。全県下で青谷しかない場所。中型バスぐらいがすっと入れる広場を作るべきだと思う。それと和紙工房には、この間のイベントで全国から何千人も来て、切り絵の作家展をSNSで見ても人が来ている。そういう宣伝の仕方、企画をち

ゃんとすれば、賑わいは創出できると思う。

【委員】花を使った取組があればいいと思う。人が訪れたいまち作りみたいところで、耕作放棄地が増加して休耕田も増えており、景観も悪化している。例えば青谷かみじち史跡周辺の水田を活用したりとか、それから JR 沿線上から見ると休耕田が見えたりして、そこを夏はひまわりとか初夏の芝桜だとか、秋のコスモスだとかそういう花を使って何かできれば、例えばインスタ映えというところで人が来られるとか、それが例えば史跡公園のリピーターに繋がるとか、いろんなところに波及してくると思うので何か花作りのそういう取組ができればいいと思う。

【事務局】花というキーワードが入ってなくて申し訳ありません。いろんな要素がありますが、②の観光客の方が訪れたいまちづくりで追加いたします。

【委員】防災について、共助の体制を整えようと思えば、まず人の繋がりをしっかりしないといけない。人口減少の中では尚更重要であり、そのためまちづくり協議会の組織を活性化させて、活動を充実させることが大切なので、そこをしっかりしてもらいたい。

【委員】卓球について、青谷上寺朗杯卓球大会は賑わいとか、遺跡を PR するにしても、少なくとも県大会ぐらいの範囲ぐらいまでなってほしいという思いがある。もう少し規模を少しずつでいいから、育てて大きくしてほしい。今は町の卓球協会がメインだが、そこだけでなくもっといろんな組織を絡めて大きな方向に向かってほしい。

【事務局】社会体育活動として卓球の取組は、わかとり記念大会や青谷オープン卓球など、様々な大会をやって頑張っておられます。それぞれの大会の参加者が被っていたり、運営が大変という事情もあり、どういった規模の大会とするかなど、今後関係の方とお話をしながら目指す方向性を整理した上で、大会のあり方を明確にしていくことを行政として支援していきます。

【委員】中学校高等学校の休日における部活動の民間移行について、移行するには教育の一環だから安心安全な環境を作らないといけない。でも指導者が日本スポーツ協会の公認資格を持ってないと指導できませんと、こういうことを県は謳っているが、卓球でそういう資格を持っておられる人がいるかいろいろな人に聞いてみたが、残念ながら 1 人もいない。だから中学校から卓球を教えると言われてもできない、そうするとよそから指導者を呼んでくるという格好になるので、そこを指導者をどんどん青谷が育てていくという視点に立ったときには、そこに行政側で試験の費用など支援があってもいいと思う。

【委員】空き家登録が進んでない理由は何か。人に貸すとなると、まずリフォームしてとなるが、補助があるのだろうかかなりそれで抵抗される。100 万もかけて 1 月 3 万円もらった

って仕方ない、っていうような人がいっぱいいる。それと県外から来た人には補助金は出るけど市内の人には補助金が出ない、市内の人が借りたいのに借りられないという実態があると聞いた。

【事務局】空き家の片付けについて UJI ターンの支援は言われるとおりの制度になっています。ちょっと町内同士、鳥取市内の移動とかは対象にならないっていうのは難しいところだと思います。ただ他の制度でリフォームではなく片付けの方で、空き家もいろんな状態があるので、リフォームしなくてもゴミを片付けて掃除したら十分綺麗になる家とかもあるので、そういったゴミとかを片付ける制度が空き家の内覧をするためにあるので、そっちの制度を使えばある程度綺麗にできるのではと思いますので、まだまだ実はそういう公的支援を使って綺麗にできることをご存知ない方もたくさんいらっしゃるんじゃないかと、啓発や案内も併せて取り組む必要があると思います。

【委員】青谷高校のことは学校のベクトルと地域の考えが同じことが必要だと思うので、文章で書かれていることが本当に学校とのすり合わせができるのかと思う。何か協議会とかされてることを伺ったので、例えばそういう協議会等を通じていわゆる地域と学校とのいわゆる共有化とか、ベクトル合わせをして、さらにその学校の支援をしていくような感じが良い。やっぱり学校は大切だっていう感じの文章にしていきたい。

【事務局】青谷高校を支援する会は次回開催が未定なので、直接高校の方にプラン案を送って確認いただく等方法を検討します。

【委員】膝を付き合わせて意見を交換することが大切であって、やっぱり市の考えを文章で伝えるのはよくないと思うし、学校の考えっていうのもあると思う。そのところを本当にどうすり合わせていくのかっていうのが大切だと思うので、会がいつ開かれるか分からないのは逆に問題じゃないかと思う。そこが大切な一番のキーになる部分だと思う。

【委員】空き家の状況を市はどこまで把握できているのか。

【事務局】空き家の調査は市でも行っていますが、実際活用するかどうかの情報は所有者の方に確認する必要があり、その情報は不足しています。これまで回覧文書等配布して自発的に情報をいただくようお願いしていましたが、なかなか反応が返ってこないなので、今考えているのは地区の区長さんをお願いして一緒に地区を歩いて、可能なら所有者にアポが取れるといいと思っているので、もう一步取組を強化しないといけないと考えています。

(2) 地域振興未来会議について

事務局より説明

【委員】分野のところの備考に経験者という表現があるところと、ないところと、これどう

理解すればいいか。

【事務局】一般にはOBという見解になるかと思いますが、現役の職員は中々なりにくいと考えてこの様を書いてあります。

【委員】例えば民生委員、福祉職、健康推進委員というのは現職のことを指すのか。

【事務局】お見込の通りですが、民生委員とか福祉職、健康推進員についてもそれぞれ場合や人によってということもあると思いますけど、可能な方について推薦していただければと思います。

【委員】県の委員などは「分野に精通した者」と書かれるので、同様に記載すれば良い。

4. その他

(1) 今後開催予定のイベントについて

- ・青谷ようこそまつり (10/26)
- ・つばさマルシェ (10/27)
- ・フルーツネットワークハロウィンフェスティバル (10/31)
- ・とっとり弥生の王国青谷かみじちフェスタ (11/3)
- ・西いなばサイクルデー2024 (11/4)
- ・こばしまウォーキング (11/10)
- ・古代山陰道フットパスウォーク (11/23)
- ・青谷上寺朗杯卓球大会 (12/8)

事務局より説明。質疑なし

以上